

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援すびか		
○保護者評価実施期間	2024年12月1日		2024年12月27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21	(回答者数) 21
○従業者評価実施期間	2024年12月1日		2024年12月27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月8日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ひとりひとりに合わせた支援が行えている	画一的な方針ではなく、ひとりひとりの支援内容についてスタッフ全員での会議を重ねている。	スタッフの専門性をより高めるために、事業所内外問わずの研修会の実施・参加を行う。
2	支援の方向性について保護者と話し合えている	保護者同室である意味を見学時にご説明し、ご理解いただけるように努めている。支援の方向性についても、こちらから積極的にお話させていただいている。	保護者との考えの相違をできる限り減らすために、節目に限らず日常的に支援の方向性・アセスメントについてお話させていただくようにする。
3	支援の効果を感じてもらえている	お子さんひとりひとりのアセスメントに時間をかけて支援計画を立てている。	スタッフの専門性をより高めること、楽しく過ごす中で発達を促す方法についてお伝えし続ける。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	情報がいきわたっていない	情報発信の方法が限られており、SNS等を用いていない保護者・関係者の方に届きにくい方式になってしまっていた。	SNSやインターネットでの情報発信以外に、紙面で持ち帰る・事業所内で見ることができるなどの方法を用いるようにする。
2	階段に注意が必要である	構造上仕方のない部分ではあるものの、今以上の安全配慮を行う必要がある。	お子さん・保護者への声掛け、手をつなぐことの徹底の他、滑り止めの追加等の安全配慮を検討する。
3	地域との交流が少ない	個別療育であることや、平日の開所のみであり、お仕事をされている方や幼稚園等と並行利用されている方はイベント参加等も難しくなっている。	必要に応じて、休日にイベントを開催するなどの企画を検討する。